



運動会の成功に向けて

今週初めの天気予報では、木曜から金曜にかけて高い降水確率でした。何とかグラウンドで運動会を開催したいと、天気図、空模様と、にらめっこする毎日です。

各団とも、3年生のすばらしいリーダーシップのもと、団員が一丸となって練習に励んできました。一人一人が、運動会テーマである「勝破笑美戦（かっぱえびせん）」を体現する素晴らしいパフォーマンスを発揮することを期待しています。また、生徒全員にとって記憶に残る運動会となるように願っています。

〈運動会のめあて〉

- ・学年縦割りの団の活動を通して、3年生がリーダーシップを発揮し、全校の団結力を高める。
- ・練習や競技、準備活動を通して、学級や学年の絆を深める。

運動会「エール合戦」の練習（5/13）より



裏面に運動会ポスターを掲載しましたので、ご覧ください。

いろんな顔をもってちゃ、だめですか？

思春期の児童生徒の悩みの1つとして、自分に色々な「顔」があることを否定的にとらえることがあります。親に見せる顔、学校で見せる顔、地域で見せる顔、親しい友達にしか見せない顔など…。時には、運動会や文化祭などの学校行事で、普段は見せない意外な一面を見せる生徒もいます。

でも、「本当の自分はどれ？」「自分自身に嫌悪感が…」と悩んでいる生徒にとっては深刻な問題です。1年道徳には「自分との付き合い方を考えよう」という題材が設けられるなど、自分の心との対話は大変重要です。ちょっとでも、気持ちが軽くなったり、解決のヒントになったりしてほしいと願い、以下の話を紹介します。

人として、いろんな顔（多面性）を持つことは普通のことです。健康な社会生活を送る上で必要なことです。どんな人も、相手や場に相応しい態度を示します。そういう「場に相応しい態度」のことを、心理学では、仮面を付け替える例えから「ペルソナ」といいます。友人であっても、親しさや信頼は異なるのですから、一人一人に対する態度も少しずつ違っていいのです。

令和6年度 大内中学校運動会

勝破笑美戦

～絆が深まるまで
終われま10～

